

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東  
 コード番号 9928 URL http://www.mjs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 滝本 訓夫 TEL 03 (5361) 6369  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,263	6.1	1,302	12.6	1,339	13.4	813	20.6
26年3月期第2四半期	10,619	3.8	1,156	10.3	1,180	11.3	674	12.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 17百万円 (△97.6%) 26年3月期第2四半期 723百万円 (20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	26.23	24.60
26年3月期第2四半期	21.99	20.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	18,344	12,218	66.4	383.70
26年3月期	19,384	12,385	63.6	402.29

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,189百万円 26年3月期 12,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,590	2.3	2,520	5.4	2,540	4.8	1,510	8.7	49.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	34,806,286株	26年3月期	34,806,286株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,037,863株	26年3月期	4,137,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	31,012,920株	26年3月期2Q	30,670,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費に弱い動きが見られたものの、企業収益は引き続き改善傾向にあり、雇用情勢も着実に改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界においては、企業のIT関連投資を含む設備投資の増加が期待されるなど、事業環境は改善傾向にあります。

このような経営環境の下、当社グループは第3次中期経営計画（平成26年度～平成28年度）をスタートさせました。本中期経営計画においては、「新しい価値創出へのチャレンジ」をテーマに、経営ビジョンとして「既存事業における競争力の強化を図るとともに、新たな事業機会を捉えて独自の価値を創出することにより、継続的かつ飛躍的な企業価値の向上を目指します」を掲げております。

本年4月に、第3次中期経営計画の実現に向け、更なる顧客基盤の拡大、より先進的かつ高品質な製品・サービス開発を行うために、営業・開発体制を中心とする組織再編を行いました。さらに、マーケット規模に合わせた適切な人員配置の一環として、東京の大手町に営業・サポート拠点を新設しました。また、最新の技術動向を調査・研究して、新製品への実装を推進する企画研究部を新設し、クラウド技術をはじめとする最先端の技術力と高品質な製品開発力を備えた開発体制を構築しております。

販売面においては、新規顧客開拓による顧客基盤の拡大に向け、新たなイメージキャラクターを起用したテレビCMを開始するなど、MJSブランドの強化を図っております。また、各種キャンペーン施策に加え、「経理業務を徹底的に効率化するセミナー&フェア」や建設工事業、医療法人向けの業種別セミナーの全国開催、クラウドコンピューティングに関する総合イベントへの主力製品の出展など、積極的な販売促進活動を展開しました。

開発面に関しては、主力システムにおいて、多様な顧客ニーズに即した機能強化や外部システムとの連携強化を継続的に行いました。また、お客様の経営環境や業務の仕組みの変化、今後のIT動向を勘案した最適な経営システムを提供するために、マルチデバイスやクラウド技術をはじめとした幅広い調査・技術研究を行っております。その一環として、ソフト開発会社から完全Web対応のクラウド販売管理システムの事業を譲受するなど、総合的なクラウドサービスの展開に向けた取り組みを行っております。

一方、第3次中期経営計画の基本方針に、「新規事業による新たな収益基盤の確立」を掲げており、その取り組みの一つとして、本年9月、中小企業の事業承継、事業再生を支援することを目的に、100%子会社である「株式会社MJS M&Aパートナーズ」を設立しました。今後、全国の会計事務所とのネットワークを活用し、中小企業における事業活動の継続、雇用の維持等に資するため、事業承継、事業再生等を支援するサービスを推進してまいります。

当社グループは、お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図るとともに、新規事業による新たな収益基盤の確立を目指し、更なる利益創出、企業価値向上に努めております。

このような事業活動により、当第2四半期連結累計期間における業績は増収増益となりました。売上高は、112億63百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益13億2百万円（前年同期比12.6%増）、経常利益13億39百万円（前年同期比13.4%増）、四半期純利益8億13百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

当連結会計年度の品目別の売上高は以下のとおりであります。

#### (システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、前年同期比8.7%増の15億9百万円、ソフトウェア売上高は、前年同期比2.1%増の44億61百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比8.7%増加し13億17百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比4.5%増加し72億88百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

#### (サービス収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比2.1%増加し9億5百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格なソフト使用料収入が伸び、前年同期比16.3%増の4億12百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、前年同期比13.7%増の15億99百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比3.3%増加し5億54百万円、サプライ・オフィス用品は、前年同期比6.1%減少し2億81百万円となりました。

この結果、サービス収入の合計は、前年同期比7.7%増加し37億52百万円となりました。

※「サービス収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やHW・NW保守サービス、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されています。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は94億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加しました。これは主に現金及び預金が5億1百万円、受取手形及び売掛金が55百万円増加したこと及び有価証券が3億円、商品が1億52百万円減少したことによるものであります。

固定資産は89億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億62百万円減少しました。これは、無形固定資産が1億63百万円、投資その他の資産が10億12百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、183億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億39百万円減少しました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は49億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少しました。これは主に前受収益が1億18百万円、未払消費税等が1億80百万円増加したこと及び買掛金が1億23百万円、未払法人税等が1億83百万円、一年内償還予定の社債が30百万円、賞与引当金が1億28百万円減少したことによるものであります。

固定負債は11億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7百万円減少しました。これは主に長期借入金が2億65百万円、繰延税金負債が4億39百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、61億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億72百万円減少しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は122億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少しました。これは主に四半期純利益8億13百万円、自己株式の減少3億9百万円及び剰余金の配当4億60百万円、その他有価証券評価差額金の減少7億98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.4%（前連結会計年度末は63.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より3億1百万円増加し48億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億83百万円の収入（前年同期は11億84百万円の収入）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益13億38百万円、減価償却費2億98百万円、たな卸資産の減少2億60百万円がそれぞれキャッシュ・フローの収入となり、法人税等の支払7億11百万円、仕入債務の減少1億23百万円がそれぞれキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億69百万円の支出（前年同期は87百万円の支出）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得のために97百万円、無形固定資産の取得のために1億60百万円、投資有価証券取得のために1億72百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億12百万円の支出（前年同期は1億12百万円の支出）となりました。

これは主として、ストックオプションの行使2億72百万円がキャッシュ・フローの収入となり、長期借入金の返済2億80百万円、社債の償還30百万円、配当金の支払4億58百万円がキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成26年5月9日の『平成26年3月期 決算短信』で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,311,247	4,812,937
受取手形及び売掛金	2,989,914	3,045,676
有価証券	600,000	300,000
商品	434,410	281,973
仕掛品	108,339	120,496
貯蔵品	46,938	33,087
その他	815,623	835,673
貸倒引当金	△7,459	△7,403
流動資産合計	9,299,014	9,422,441
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,728,341	2,728,341
その他（純額）	1,288,716	1,301,760
有形固定資産合計	4,017,057	4,030,101
無形固定資産		
ソフトウェア	1,359,804	1,218,623
ソフトウェア仮勘定	139,928	118,086
その他	16,859	16,741
無形固定資産合計	1,516,593	1,353,451
投資その他の資産		
投資有価証券	3,765,705	2,700,839
その他	792,164	843,841
貸倒引当金	△6,404	△5,769
投資その他の資産合計	4,551,466	3,538,912
固定資産合計	10,085,117	8,922,464
資産合計	19,384,131	18,344,906
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	753,285	630,012
短期借入金	600,000	600,000
1年内償還予定の社債	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	545,000	530,000
未払法人税等	727,999	544,017
賞与引当金	510,031	381,238
返品調整引当金	64,313	102,450
その他	1,930,020	2,207,467
流動負債合計	5,160,650	4,995,187
固定負債		
長期借入金	820,400	555,400
退職給付に係る負債	21,751	20,942
資産除去債務	17,716	17,920
その他	978,234	536,681
固定負債合計	1,838,102	1,130,944
負債合計	6,998,753	6,126,131

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,198,380	3,198,380
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	5,491,174	5,829,463
自己株式	△1,165,792	△856,023
株主資本合計	10,537,151	11,185,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,807,580	1,009,435
繰延ヘッジ損益	△6,899	△5,083
その他の包括利益累計額合計	1,800,681	1,004,352
新株予約権	47,545	29,212
純資産合計	12,385,378	12,218,774
負債純資産合計	19,384,131	18,344,906

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	10,619,448	11,263,883
売上原価	3,858,367	4,050,809
売上総利益	6,761,080	7,213,074
返品調整引当金戻入額	19,793	64,313
返品調整引当金繰入額	22,719	102,450
差引売上総利益	6,758,155	7,174,937
販売費及び一般管理費	5,601,318	5,872,009
営業利益	1,156,837	1,302,927
営業外収益		
受取利息	2,253	2,488
受取配当金	9,014	11,091
保険配当金	25,310	17,660
持分法による投資利益	—	84
その他	10,349	18,307
営業外収益合計	46,928	49,633
営業外費用		
支払利息	21,518	11,193
その他	1,478	2,064
営業外費用合計	22,997	13,258
経常利益	1,180,768	1,339,302
特別利益		
投資有価証券売却益	934	—
新株予約権戻入益	—	266
特別利益合計	934	266
特別損失		
固定資産除却損	2,947	710
減損損失	218	72
会員権売却損	1,413	—
特別損失合計	4,579	783
税金等調整前四半期純利益	1,177,122	1,338,785
法人税等	502,617	525,309
少数株主損益調整前四半期純利益	674,505	813,475
四半期純利益	674,505	813,475



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	674,505	813,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,625	△798,144
繰延ヘッジ損益	2,956	1,815
その他の包括利益合計	48,582	△796,329
四半期包括利益	723,087	17,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	723,087	17,146
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,177,122	1,338,785
減価償却費	299,976	298,584
減損損失	218	72
株式報酬費用	9,007	2,823
新株予約権戻入益	—	△266
貸倒引当金の増減額（△は減少）	533	△690
賞与引当金の増減額（△は減少）	△106,376	△128,793
返品調整引当金の増減額（△は減少）	2,925	38,136
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△600	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	△809
受取利息及び受取配当金	△11,267	△13,579
支払利息	21,518	11,193
持分法による投資損益（△は益）	—	△84
投資有価証券売却損益（△は益）	△934	—
固定資産除売却損益（△は益）	2,947	710
売上債権の増減額（△は増加）	362,209	△55,098
たな卸資産の増減額（△は増加）	△179,755	260,446
仕入債務の増減額（△は減少）	92,015	△123,272
その他	△375,141	266,727
小計	1,294,398	1,894,886
法人税等の支払額	△110,132	△711,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,184,266	1,183,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120,056	△120,060
定期預金の払戻による収入	320,051	120,056
有形固定資産の取得による支出	△119,551	△97,131
無形固定資産の取得による支出	△148,851	△160,128
投資有価証券の取得による支出	△60,000	△172,800
投資有価証券の売却による収入	5,108	250
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
保険積立金の積立による支出	△7,245	△2,732
保険積立金の解約による収入	37,473	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,427	△47,944
利息及び配当金の受取額	11,516	13,577
その他	2,485	△2,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,496	△369,585

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,300,000	1,300,000
短期借入金の返済による支出	△1,300,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△228,600	△280,000
社債の償還による支出	△90,000	△30,000
ストックオプションの行使による収入	—	272,966
自己株式の取得による支出	△44	△47
配当金の支払額	△367,302	△458,422
利息の支払額	△21,756	△11,418
その他	△4,325	△5,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,028	△512,391
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	984,741	301,686
現金及び現金同等物の期首残高	3,056,698	4,582,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,041,439	4,884,530

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションの行使に伴い、自己株式を処分しております。  
この結果、自己株式が309,769千円減少しております。